

首里金城町の 地域遺産とまちづくり

世界文化遺産、首里城バッファーズーンの保存活用について考える



首里城をいただく城郭都市の一面にあって歴史都市の面影が今に遺る金城（かなぐしく）にも、コミュニティの運営に差し支える社会問題が波及しつつあります。多彩な地域遺産の将来世代への継承を担うための態勢整備が急がれます。そんな事態のもと、住民の手で歴史都市に相応しい誇れるまちづくりを模索し、行動することの必要性に気づかれた住民がみえます。既に他所のベストプラクティスを学ばれ、行政担当者や研究者とともに「地域遺産」を活かした持続可能なまちづくりに挑戦されています。

今回、このようなコミュニティの取り組みをお手伝いする試みとして、金城町自治会と共同して学習会を企画しました。地域遺産を活かした持続可能なまちづくりについて、ともに地域を巡り考えます。

2026

7/12 (日) 9:00~12:00

首里金城村屋（かなぐしくむらやー）

住所 那覇市首里金城町2丁目7番地

参加対象 金城町住民及び主催団体招待者

参加費用 無料（ただし、傷害保険金1人50円程度）



プログラム

○趣旨説明（10分）

○金城町の地域遺産巡り（30分）

巡見：村屋、大樋川、華茶園、真珠道（石畳道）、
首里金城の大アカギほか

講師：當眞嗣一（グスク研究所主宰／琉球弧世界遺産学会理事）

○休憩（20分）

○学習会（30分）

話題1：「首里金城町がめざすまちづくり」
玉那覇元（首里金城町自治会長）

話題2：「コミュニティが担う世界遺産や地域遺産の保存活用」
花井 正光（前琉球弧世界遺産学会代表）

○質疑応答（30分）

司会：濱口 寿夫

（中城村護佐丸歴史資料図書館長／琉球弧世界遺産学会代表）

問合せ先

琉球弧世界遺産学会事務局
濱口：090-9477-2301／花井：090-8454-5930

主催：琉球弧世界遺産学会（通称：琉球弧世界遺産フォーラム）
共催：首里金城町自治会 支援：沖縄美ら島JCBカード